

糖尿病透析患者への速効型インスリン分泌促進薬「ミチグリニド」の使用経験

第 64 回 大阪透析研究会

佐々木敏作・赤木尚子・宮田奈々恵・福永満月子・河井里枝・岡本真由・丸山禎之・和田 茂(佐々木内科クリニック 腎センター)

【目的】糖尿病を合併する血液透析患者を対象として、新しい速効型インスリン分泌促進薬「ミチグリニド(グルファスト)」の有用性について検討した。

【方法】糖尿病透析患者にグルファスト 10mg を透析直前に投与し、透析中の血糖、インスリン濃度、血漿中ミチグリニド濃度を測定した。

【結果】 SU 剤からの変更ではさらなる血糖降下作用は期待できなかった
内因性インスリン分泌が保たれている症例ではスターシスに比し HbA1c の低下が認められた。

透析中ではグルファストの吸収遅延の可能性が考えられるが、血漿中ミチグリニド濃度は非透析時と同様の薬物動態を示すと考えられ、透析除去率は非常に低いと推測された。

【結論】グルファストは内因性インスリン分泌が保たれている糖尿病透析患者に対し有効な薬剤と考えられた。